

# 都市再生整備計画 事後評価シート

## 庄原地区

平成24年 2月

庄原市

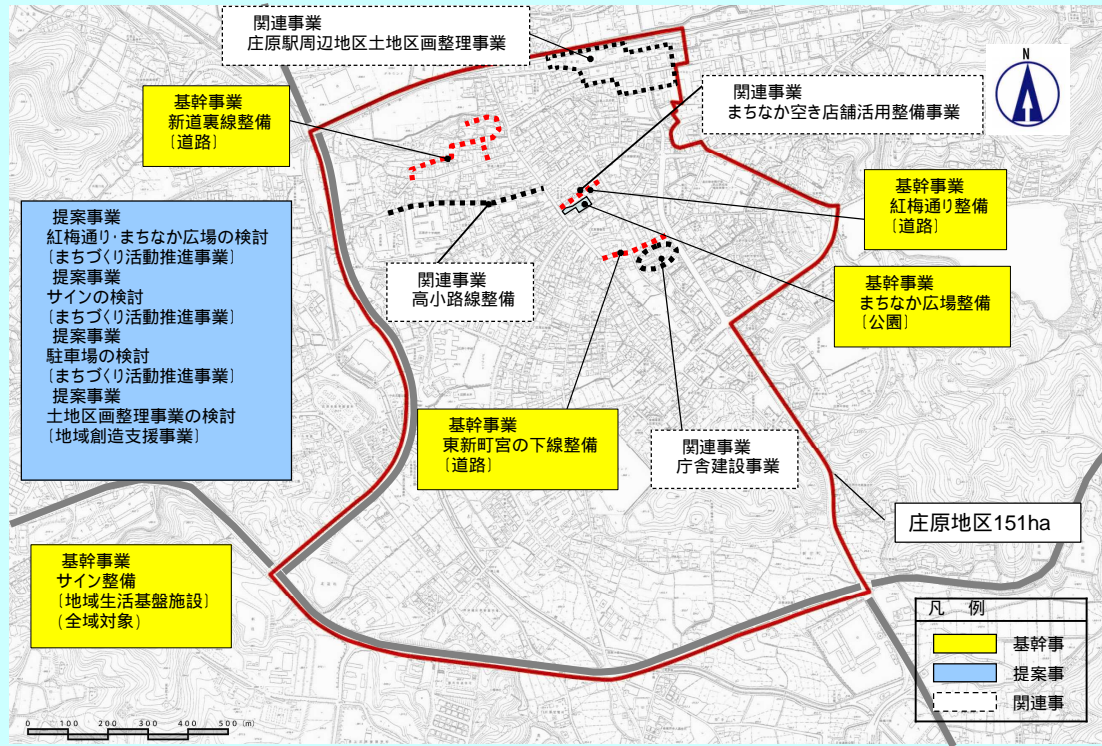
様式2 - 1 評価結果のまとめ

都道府県名	広島県		市町村名	庄原市		地区名	庄原地区			面積	151ha	
交付期間	平成19年度～平成23年度		事後評価実施時期	平成23年度		交付対象事業費	700百万円	国費率	40%			
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路事業(東新町宮の下線、紅梅通り)、公園事業(まちなか広場)、地域生活基盤施設(サイン整備)									
		提案事業	地域創造支援事業(土地区画整理事業の検討)、まちづくり活動推進事業(紅梅通り・まちなか広場の検討、サインの検討、駐車場の検討)									
	当初計画から削除した事業	基幹事業	事業名		削除/追加の理由				削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
		提案事業	なし									
	新たに追加した事業	基幹事業	道路事業(新道裏線)		土地区画整理事業区域縮小に伴い、除外区域の生活道路整備を新たに追加する。				指標 まちづくり計画達成度について、まちづくり計画に記載している新道裏線を追加したことにより数値目標を上方修正した。			
		提案事業	なし									
交付期間の変更	当初	平成19年度～23年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響								
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	指標1	庄原市まちづくり計画の達成度	%	20	H18	53.4	H23	-	53.4	あり なし	まちづくり計画に沿った事業実施を行い事業の進捗を図ることができた。	平成24年4月
	指標2	まちづくりに関する検討会やワークショップの開催回数	回	30	H17	36	H23	-	67	あり なし	提案事業で紅梅通りやまちなか広場のワークショップを行ったことにより市民のまちづくり活動が活発になった。	平成24年4月
	指標3	歩行者通行量	人/12時間	443	H18	500	H23	-	1,323	あり なし	東新町宮の下線整備により、未整備だった歩道が両側に整備され、安心・安全な歩行空間を確保できた。また、関連事業の庁舎建設にて市民ひろばや市民ホールが設けられ、イベント等を行ったことで通行量が増加した。	平成24年8月
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度 <sup>1)</sup>	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1	庁舎市民ホールの活用回数	回	21	H21	/	/	-	32	/	市民や各種団体に周知されたことで幅広い目的で利用されることとなった。また、道路整備により交通量の増えた街路からガラス張りの市民ホールが望める為、市民が気軽に立ち寄れる空間が生まれ交流や情報提供を促すことができた。	平成24年4月
その他の数値指標2	新道地区の緊急車両の進入不可の改善	戸	29	H18	/	/	-	10	/	新道裏線道路改良工事により、利便性が向上すると共に緊急車両の進入エリアが拡大することで、市民が安心・安全に暮らすことのできる環境を形成することができる見込みである。	平成24年4月	
4) 定性的な効果発現状況												
5) 実施過程の評価	実施内容			実施状況								今後の対応方針等
	モニタリング	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた				都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				-
	住民参加プロセス	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた				都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				-
持続的なまちづくり体制の構築	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた				都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				-	

## 様式2 - 2 地区の概要

庄原地区(広島県庄原市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値		
「住む人」、「来る人」が安心して快適に過ごすことのできるまちづくり 目標 : 交流やにぎわいの生まれる環境づくりを進める 目標 : 落ち着いた地域の特色やまちづくり活動などの今までの取り組みを活かしていく 目標 : まちの機能や生活基盤が整備された安心・安全に暮らすことのできる環境づくりを行う	庄原市まちづくり計画の達成度	単位: %	2.0 H18	53.4 H23	53.4 H22	
	まちづくりに関する検討会やワークショップの回数	単位: 回	30 H17	36 H23	67 H22	
	歩行者通行量	単位: 人/12時間	443 H18	500 H23	1,323 H23	
	庁舎市民ホールの活用回数	単位: 回	21 H21	-	-	32 H22
	新道地区の緊急車両の進入不可の改善	単位: 戸	29 H18	-	-	10 H23



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区内には、依然として未整備の道路が存在しており、引き続き計画的に整備を行っていく必要がある。</li> <li>・指標の達成状況から地域の活性化を促進することはできたが、依然として空き家・空き店舗が存在しており、日常的に利用される魅力を持った街を形成し、まちなか活性化に向けた取り組みを行っていく必要がある。</li> <li>・庄原駅及びその周辺施設の利用者に多用されてきた市の駐車場の敷地が庄原駅周辺地区土地区画整理事業による換地により大きく減少する見込みであり、新たな駐車場の確保が必要となる。</li> </ul>
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路、公園、案内板の適切な維持・管理を行う。</li> <li>・庄原駅周辺地区土地区画整理事業を地権者との合意形成を図りながら、計画的に実施する。</li> <li>・まちづくり活動が活発になっている現状を維持し、市と市民の共同による検討会や賑わい創出に向けた取り組みを行う。</li> <li>・まちなかに存在する空家・空き店舗を活用し、市街地の賑わい創出を図る。</li> <li>・駅前区画整理事業及び関連事業の高小路線整備により駐車場用地が大きく減少し、また、まちなか広場の整備により地域の交流・活性化を促進する為にも新たな駐車場用地を確保する必要がある。</li> <li>・都市計画道路の整備を計画的に行い、道路の循環機能を高め、地域ネットワークを形成し利便性・安全性を高めていく。</li> </ul>